

エコアクション21

環境経営レポート

(対象期間 2023年8月～2024年7月)

認証・登録番号 0010467

2024年10月17日発行



ナンコー電機株式会社

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

ナンコー電機株式会社
代表取締役 佐藤 康弘

(2) 所在地

本社：〒170-0012 東京都豊島区上池袋1丁目23番3号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

・環境管理責任者 坂間 雅和
TEL: 03-3910-2047
FAX: 03-3910-2049
Eメール: keiri@nankodenki.co.jp

(4) 事業活動の内容

会社設立：昭和28年3月3日
事業内容：集合住宅、公共建築物の電気工事、消防施設工事
電気工事業 許可番号 東京都知事許可(特-03)第7232号
消防施設工事業 許可番号 東京都知事許可(般-03)第7232号

(5) 事業の規模

	単位	2021年度	2022年度	2022年度
売上高	百万円	366	418	294
従業員	人	9	9	8
床面積	m ²	112	112	112
(事務所)		(72.0)	(72.0)	(72.0)
(倉庫)		(40.0)	(40.0)	(40.0)

(6) 事業年度 8月～7月

2. 対象範囲

登録事業所名: ナンコー電機株式会社
対象事業所 : 全社
活動 : 全事業

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

《基本理念》

ナンコー電機株式会社は、集合住宅や公共建築物の電気工事、消防施設工事を通じて、自然環境の保全及び環境負荷低減のため、全社員が一丸となって自主的、積極的に環境への取り組みを継続的に推進し、環境経営システムに基づく持続可能性のある改善に努めます。

《基本方針》

1. 環境経営システムを構築し、次の事項について積極的に取り組みます。
 - ①省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物排出量を削減し、リサイクルの推進に努めます。
 - ③節水に取り組み、水使用量削減に努めます。
 - ④環境に配慮した工事施工に努めます。
 - ⑤エコ商品の利用など、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境関連法規制、条例等の遵守に努めます。
3. 環境目標を定め、定期的に見直しをして、継続的改善に努めます。
4. 環境方針を全社員及び協力会社に周知し、環境保全への意識向上に努めます。

改定日 2020年8月1日

ナンコー電機株式会社

代表取締役 佐藤 康弘

4. 中期環境経営目標

環境経営目標		単位	基準年度	短期目標	中長期目標	
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	t-CO2		1%削減	2%削減	3%削減
			13.2	13.1	12.9	12.8
2	電力使用量の削減	kWh		1%削減	2%削減	3%削減
			6,558	6,492	6,427	6,361
3	車両燃料の削減(ガソリン)	ℓ		1%削減	2%削減	3%削減
			3,654	3,617	3,581	3,544
	車両燃料の削減(軽油)	ℓ		1%削減	2%削減	3%削減
			536	530	525	520
4	産業廃棄物の削減(リサイクルの推進)	t		5%削減	5%削減	5%削減
			5.18	5.12	5.07	5.02
5	一般廃棄物の削減	kg		3%削減	3%削減	3%削減
			317	314	311	307
6	総排水量の削減	m³		3%削減	3%削減	3%削減
			40	40	39	39
7	グリーン購入促進	件	23	23	23	24
8	環境配慮					
	①環境に配慮した施工	件	全件	全件	全件	全件
	②エコキャップの分別		分別収集	分別収集を継続		
	③社会貢献活動		地区防災訓練に参加	地区防災訓練に参加		

*一般廃棄物の削減については、従来までの袋単位での排出を止めて、実測方法に改める。

**産業廃棄物の排出量削減目標として、廃段ボール類のリサイクルを中心に活動を行う。

***以前まで基準年度を2019年度としていたが、今年度から基準年度の数値を2022年度とした。

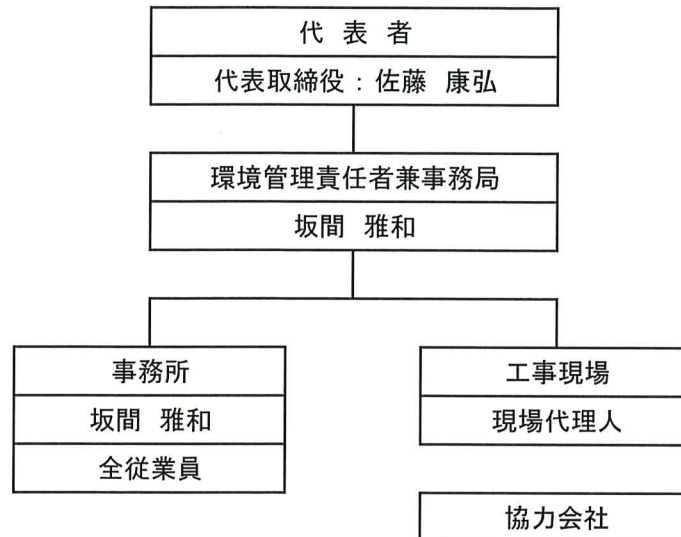
****電力の二酸化炭素排出係数 2022年度年東京電力調整後排出係数 0.376kg-CO2/kwh を使用しています。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価及び今後の取組内容

環境経営目標	環境経営計画の取組項目	評価	評価及び今後の取組内容
1 二酸化炭素排出量の削減			
①電力使用量の削減	不要照明の消灯	○	社員のいない事務所スペース、倉庫では照明を消し、エアコンは、温度調節をしながら、電力使用量削減に取り組んだ。来年度も引き続き電力使用量削減に取り組んでいく。
	外出時のPC電源OFF	○	
	空調温度の適正化	○	
②車両燃料、ガソリン・軽油使用量の削減	制限速度の厳守	○	各自、制限速度を厳守、渋滞等状況に応じて、高速道路を活用して燃料削減、燃費の向上にも取り組んだ。来年度も引き続き燃料削減に取り組んでいく。
	急加速・急発進の防止	○	
	運行航路の適正化	○	
2 廃棄物排出量の削減			
①産業廃棄物の削減	残余資材の発生を防止	○	各現場、資材の発注に注意し残余資材の発生の防止、分別廃棄の徹底によるリサイクルの推進にも取り組んだ。来年度も引き続き継続して取り組んでいく。
	リサイクルの推進	○	
	適正な処理業者へ委託	○	
②一般廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底	○	豊島区では昨年から、プラスチックを資源として回収するようになったが、各自、分別廃棄は徹底していた。裏紙を有効利用して紙の廃棄物削減に取り組んだ。来年度も引き続き、廃棄物削減に取り組んでいく。
	裏紙・両面コピーの活用	○	
	ミスコピーの抑制	○	
3 水使用量の削減			
水道使用量の削減	手洗い時の節水	○	年間を通じて、無駄な使用は見当たらなかった。来年度も継続していく。
4 グリーン購入の推進			
事務用品のグリーン購入の推進	環境に配慮した商品の購入	○	引き続き、事務用品は環境配慮品の購入を推進していく。購入率は、コスト面も考慮しながら比率を高めていきたい。
	購入率の把握	○	
5 環境配慮			
①環境に配慮した施工	電動工具の使用は騒音に配慮し必要最小限にする	○	工事部員各自が、環境に配慮して施行した結果、苦情は1件もなかった。来年度も引き続き、環境に配慮して施工していく。
	充電式工具を使用する	○	
	環境に配慮した照明器具を使用する	○	
②エコキャップの回収	随時回収	○	現在回収継続中
③社会貢献活動	地区防災訓練に参加	○	豊島区主催の防災フェスに参加した。

6. 実施体制

ナンコー電機株式会社 環境経営システム組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの構築・実施及び維持管理に必要な資源の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全社員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画・環境経営レポート等の承認 ・環境経営システム全体の評価と見直しを実施し、必要な改善を環境管理責任者に指示
環境管理責任者 兼事務局	・環境経営方針を全社員へ周知・徹底 ・環境への負荷及び取組みのチェック、結果の評価 ・環境経営目標・環境経営計画の作成、結果の評価 ・代表者への実施状況報告並びに各部門への指示 ・経営計画進捗管理結果の評価・確認と是正処置の指示 ・環境関連法規等の遵守状況のチェック、確認及び代表者への報告 ・教育訓練、緊急事態への定期的訓練の実施 ・是正処置・予防処置の実施の指示・その他結果を確認 ・環境経営レポートの作成、各文書・記録類の確認 ・環境経営システム全体の見直しに必要な情報を代表者に報告、代表者の指示を実施
現場代理人	・建設現場の環境経営システムの責任者 ・協力会社に環境経営システムの周知と教育並びに指導の協力 ・顧客及び協力業者からの提案や意見を環境管理責任者に報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7. 環境経営目標及びその実績

環境経営目標	単位	目標	実績	達成 区分	評価
		2022年8月～ 2023年7月	2022年8月～ 2023年7月		
1 二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	12.8	13.6	×	電力、車両燃料とも目標達成できなかった。
2 電力使用量の削減	kWh	6,492	7,430	×	現場事務所での使用もあったが、全体的に増加した。
3 車両燃料、ガソリン使用量の削減	ℓ	3,617	3,909	×	ガソリン、軽油とも目標達成できなかった。特に軽油は、営業活動による使用量が増加した。
4 車両燃料、軽油使用量の削減	ℓ	530	635	×	
5 廃棄物排出量の削減					
①産業廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	t	5	8	×	元請改修工事が増加したため、排出量も増加した。
②一般廃棄物の削減	kg	314	314	○	目標は達成できた。引き続き削減に努めていく。
6 水使用量の削減					
水道使用量の削減	m³	40	46	×	引き続き無駄なく使用していく。
7 グリーン購入の推進					
事務用品のグリーン購入の推進	品目数	23	23	○	目標は達成できた。引き続き環境に配慮した物を購入していく。
8 環境配慮					
①環境に配慮した施工	件	全件	全件	○	各自環境に配慮して施工した結果、苦情はでなかった。
②エコキャップの回収		随時回収	随時回収	○	現在回収継続中。
③社会貢献活動		地区防災訓練に参加	地区防災訓練に参加	○	豊島区主催の防災フェスに参加

○:目標達成 ×:目標未達成

*電力の二酸化炭素排出係数 2022年度年東京電力調整後排出係数 0.376kg-CO2/kwh を使用しています。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規への違反、訴訟の有無

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。なお、地域並びに関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間に1件も発生しておりません。

(2) 環境関連法規等の取りまとめ

当社の事業活動に当たって遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制は以下のとおりです。

遵守する環境関連法規、条例及びその他の規制	遵守評価
①廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
②大気汚染防止法(自動車から排出される窒素酸化物)	○
③消防法	○
④東京都環境確保条例	○
⑤豊島区廃棄物処理の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	○

9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

2023年度は電力使用、ガソリン使用、水道使用量が目標値に達成しなかった。

猛暑により事務所内でのエアコン使用増と会社倉庫内での作業時に冷風機器を稼働した影響で電力使用が増加したと思われます。また、工事車両のガソリン使用量においては、23区内の現場でも多方面となり、細かい車両移動とエアコン使用により燃費効率が悪化したと思われます。

産業廃棄物も公共施設、豊島区街路灯の照明器具LED化工事、その他機器更新工事により会社からの搬出量が増加しました。但し、ダンボール類、電線・ケーブル等はリサイクル処理に継続して努めております。

事務所備品においてはラベルレス品の選定によりゴミの省力化、プラスチック系のゴミ分別によりリサイクル率のアップに努めております。

2024年度は温暖化対策、熱中症対策にも取り組むため業務効率化の推進に努めていきます。